

学校運営協議会会議録

学校名 桃井第四小学校

記録者 高橋 申明

開催日時	令和6年10月10日(木) 18時00分～20時10分
開催場所	図書室
出席者(委員)	委員長、委員 10名
出席者(学校)	教員 2名(校長、副校長)
傍聴者人数	

会議内容(次第順)

【報告事項】

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶

【協議事項】

「CSリーフレット作成、もしルールブック改訂、CS発足20周年に向けて」について

主な意見

【報告・協議事項】

<会長挨拶>

- ・例大祭お疲れ様でした。10～11月はイベントが多いですが、頑張りましょう。

<校長挨拶>

- ・例大祭ではお世話になりました。子供神輿も盛り上がり、子供たちの楽しい姿が多く見られました。
- ・遠足、社会見学等行事も多いです。長縄も全校で取り組んでいます。
- ・校内別室指導も始まり、ボランティアの方も活躍いただいています。

<協議事項>

★CSリーフレットの内容について

- ・全国学習状況調査の結果より、子供たちの姿を考える。
- ・拡大CS協議会取り上げてもいい題材もある。
- ・もしの子供たちが完成されることを目指さず、型にはめなくてもいいのではないか。
- ・教員間の系統的な児童の理解が弱くなっているかもしれない。
- ・全学年の学習の流れが可視化できるといい。
- ・もっと楽しいことを味わわせなくてはいけないが、型にはめていることが多い。
- ・保護者へのアプローチも大切である。
- ・教育目標の「自分らしく」を深めていく手助けをしていく。～子供と大人が相互に考えてもよい
- ・大人も揺さぶられる(共感できる)発信がいい。投げかけ方とか。
- ・中高でも通用する学びを、もしでも実践してほしいという思いもある。
- ・種を蒔いて刺激を与えてあげるのもいいのではないか。それをアピールする。
- ・20年間の積み重ねや教育目標「もっと楽しく」を表していければいい。
- ・少し先の生き方を考えさせるリーフレットになればいいのではないか。
- ・「体験」を学校が保証してくれることも大事ではないか。体験の改善も必要である。
- ・親子で考えられるものがあるといいかもしれない。(問いかけを作る)
- ・一方的な発信ではなく、活用して相互に考えるきっかけになることもいいのではないか。
- ・A4の1枚で作成し、二次元コードでwebのページを作成するのもよいと思う。

★CS発足20周年に向けて

- ・CS小中連携を実践してもよいと思っている。例) 中学CSを拡大CS協議会へ招く。

次回の会議日程

日時	11月22日(金) 18:00～
会場	図書室